

# 2026年4月、人間情報学部 人間情報学科が 数学・情報教員養成専攻を新設し、3専攻体制へ

- 感性工学専攻
- データサイエンス専攻
- 数学・情報教員養成専攻

人間情報学部はこれまでの「感性工学専攻」と「データサイエンス専攻」に加え、「数学・情報教員養成専攻」を新設しました。AI、IoT、ビッグデータなどの「情報技術」、受け手である「人の心」、その基礎となる「数学」の学びと、数学・情報教員の育成を強化します。



学生一人ひとりの「なりたい自分」を人間情報学部の幅広い学びで実現していく。



人間情報学部長  
三和 義秀 教授

人間情報学部では、「人」を中心に考えながら情報技術を学び、社会の発展に多面的に貢献できる人材の育成をめざしています。特に、AIが進化する時代において、人々が安心して暮らせる情報社会に必要な知識と技術を身につけることを重視しています。今年度から3専攻体制になり、それぞれの専攻が相互に連携しながら、新しい価値を生み出す「創造のトライアングル」を構築していくことで、人の感性とデータサイエンスを深く探究し、教育現場の未来を担う数学・情報教員を養成する学部へと進化します。

本学部では「数学の素養」を学修の鍵と捉え、数学の基礎を選択必修にしています。AIの内部では、あらゆるデータが「数値」として処理されるため、AIを原理的に理解するには数学の言葉が必要になるからです。数学に苦手意識があり、不安に思う学生もいるかもしれませんが、安心してください。実際に多くの文系出身者も在籍し、基礎から体系的に学び、着実に成長しています。

これまでシステムエンジニアやCGデザイナーなど、主にビジネス分野に人材を輩出してきましたので、今後、教育分野にもより貢献できることは大きな意義だと感じています。大学は、学びと挑戦を通じて「なりたい自分」に成長する場所です。それぞれがめざす姿を常に見据えて、私たちと共に、自分らしい未来を切り拓いていきましょう。

## 身につく力

- ユーザの多様に配慮して効果的な情報サービスや製品をデザインできる力
- AIやビッグデータ、ロボットなどの技術を活用して、人々の快適な情報環境を提供できる力
- 情報技術により人々の生活の質(QOL)を上げる力
- データ分析により問題・課題を解決できる力
- 先進的な学校教育に貢献できる数学・情報の力
- ICT教育によって人々の情報リテラシーを向上させる力

## 数学・情報教員養成専攻

数学とAIを含む情報技術の基礎から応用までをしっかりと理解し、中学校の数学、高等学校の数学と情報の教員の免許状を取得することが、本専攻の教育目標の中心にあります。さらに、学生一人ひとりが自分の興味・関心を追究できるように、感性工学やデータサイエンスも深く学べるカリキュラムを編成。教職をはじめ多様なキャリアにも対応できる、幅広い学びを提供します。



数学・情報サロン



### 特色

- 01 中学校教諭一種免許状(数学)および高等学校教諭一種免許状(数学・情報)のダブル取得が可能。
- 02 教育現場で役立つ情報機器やソフトウェアの活用スキル、AI、IT、データサイエンスの知識を修得。
- 03 心理学や人の感性に関する知識を深め、多様な価値観に対応できる柔軟な人間性を涵養。



数学・情報教員養成専攻主任

浦尾 彰 准教授

数学・情報教員養成専攻では、定員20人の少人数体制による手厚い教育をおこないます。学生同士が自由に学び合う拠点となる「数学・情報サロン」という本専攻の専用施設も整備しました。ホワイトボードや電子黒板などを活用して模擬授業の練習ができるほか、個別学習ブースではレポート作成や教員採用試験対策などに集中して取り組みます。こうした環境のもと、数学や情報のおもしろさを生徒に伝えられる力、ICT活用能力、仲間と協働しながら新しい価値を生み出す力などを育てたいと考えています。

数学・情報のおもしろさを、教員を志す学生自身が体感し、掘り下げて学んでほしい。視野を狭めず、数学、情報、AI、データサイエンス、心理学など、幅広い知識や技術を身につけてほしい。そのように学生たちに期待しています。

## 感性工学専攻

人の感性やユニバーサルデザインなど「人に関する知識」と、AI、IoT、情報システム、ロボットなど「情報技術」の両面を学びます。人間の感性を重視しながら情報技術を用い、人に優しいシステムやデザイン、情報サービス、製品を創出することをめざします。専門的な知識や技術の修得に留まらず、社会で求められる「人に寄り添う心」や課題解決力も育みます。



シミュレータールーム



### 特色

- 01 人の感性とユニバーサルデザインの観点から、コンテンツ制作やシステム開発を学修。
- 02 AI・IoT・ビッグデータ・ロボットなどの情報技術を学び、社会の諸課題への対応力を修得。
- 03 Webデザイナー、システムエンジニアなど、豊かなデジタルライフを提案・創造する人材を育成。

## データサイエンス専攻

AIの基礎となる「コンピュータプログラミング」や「数学」、データを扱う際に必要な「統計学」、そして「心理学」、この4本柱でデータサイエンスの知識・技術を専門的に学びます。人にどう役立つのか、人の心をどう反映させるかという視点でデータを活用し、社会課題の解決、新しい価値の創出ができるスペシャリストを育成します。



視覚情報実験室



### 特色

- 01 心理学を中心とする実験手法を用い、人の性質を測定・評価・可視化する知識・技術を修得。
- 02 統計学を中心とするデータ分析や行動学、バイオメカニクスなどの知識・技術を修得。
- 03 データサイエンティスト、地方公務員の心理職など、よりよい社会づくりに貢献できる人材を育成。